

令和5年度志摩市地域公共交通会議 第4回全体会 議事概要

日 時 令和5年10月25日(水) 15時30分～

場 所 志摩市消防本部 会議室

【出席委員】

志摩市副市長	村上 圭一
名古屋大学大学院環境学研究科 教授	加藤 博和
近鉄グループホールディングス株式会社 事業戦略部長	岸上 敦
近畿日本鉄道株式会社鉄道本部名古屋統括部 運輸部長	赤井 智明
三重交通株式会社 志摩営業所長	川北 幸宏
一般社団法人三重県タクシー協会 伊勢志摩支部長	小崎 琢也
浜島町自治会連合会 会長代理	柴原 伸之
阿児町自治会連合会 会長	溝口 幸夫
磯部町自治会連合会 会長	前田 周作
一般社団法人志摩市観光協会 専務理事	岡田 英美
社会福祉法人志摩市社会福祉協議会 会長	前田 正典 (代理：植村 源文)
間崎自治会 会長	下川 元三
間崎婦人会 会長	山本 くに枝
三重県立水産高等学校 校長	向井 英規
中部運輸局三重運輸支局 首席運輸企画専門官	前葉 光司
中部運輸局三重運輸支局 鳥羽海事事務所長	竹内 宜也
三交伊勢志摩交通労働組合 書記長	西尾 祥貴
志摩マリンレジャー株式会社 取締役社長	矢尾 弘
三重県鳥羽警察署 交通課長	谷端 辰成 (代理：三輪 有吾)
三重県志摩建設事務所 道路課長	山下 智也
三重県地域連携部 交通政策課長	藤田 雄一 (代理：黒川 裕司)
三重県南部地域活性化局 次長兼南部地域振興企画課長	森吉 秀男 (代理：垣内 啓)
志摩市建設部長	西崎 真人
志摩市政策推進部長	箕浦 勤

【欠席委員】

志摩市自治会連合会	会長代理兼副会長（大王町自治会連合会 会長）	松井 源紀
志摩市自治会連合会	副会長（志摩町自治会連合会 会長）	山口 壽
志摩市商工会	会長	出口 勝美
志摩市産業振興部長		山本 和輝

事務局	<p>皆さま、こんにちは。定刻となりましたので、令和 5 年度志摩市地域公共交通会議第 4 回全体会を開催させていただきます。委員の皆さま方には大変お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日は委員 28 名のうち 24 名の出席があり、半数以上の要件を満たしておりますので、志摩市地域公共交通会議設置要綱第 4 条第 4 項の規定に基づき、本会議が成立することを報告させていただきます。また、本会議は同要綱第 4 条第 7 項の規定に基づき、公開で行い、議事要旨および資料についても公開いたしますので、ご了承ください。</p> <p>それでは議事に入ります。議長につきましては、同要綱第 4 条第 2 項の規定によりまして、会長が議長となることとなっておりますので、これからの議事進行につきましては、会長であります村上副市長にお願いしたいと思います。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>皆さま、改めましてこんにちは。本日、議長を務めさせていただきます志摩市副市長の村上でございます。委員の皆さまにおかれましては大変お忙しい中、この会議にご出席賜り、ほんとにありがとうございます。本日は報告事項が三つあるとお聞きしておりますので、スムーズな議事進行にどうぞよろしく願いいたします。それでは、座って進めさせていただきます。</p> <p>それでは、議事 2、報告事項 (1) 地域公共交通計画 (案) につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>【資料 1 の説明】</b></p>
会長	<p>ありがとうございました。ただ今、事務局から志摩市地域公共交通計画 (案) ということで説明をいただきましたけども、委員の皆さま、ご意見、ご質問等がございましたら、お願いいたします。いかがでしょうか。</p>
A 委員	<p>最初、事前送付の資料を見てちょっと気付いた部分をお話しさせてもらうかなと思ったところなのですが、当日差し替え版もありますので、あと何らかカバーされてるようでしたらご容赦ください。細かい部分は、後日、事務局と確認させてもらえればと思います。</p> <p>ページでいうと、14 から 16 の所で交通計画の作成の手順という基本的な方針ですとか、目標のことが記載されているように思います。たぶん視点というのが方針的なもので、対応方針というのが目標のことかと思います。あ</p>

	<p>と事前送付の方ではなかったのですが、取り組み方向というのが具体的な取り組み事業のことかなというふうに見てて思いました。またそれは後日、確認させていただきます。あと19ページから20ページが取り組みの事業の細かいことが記載されてるのかなというふうに、差し替え版の方を見て思いました。これもまた事務局さんの方にまた後日、確認させていただきます。</p> <p>あと評価指標のこれが差し替え版ですと、22ページの方になりまして、計画の目標指標というところでア、イ、ウ、エと四つ設定されておりまして、標準の目標指標といいますと、昨今、住民等の公共交通の利用者数ですとか、公共交通の収支ですとか、公共交通への公的資金投入額という三つがあるものですから、アとかイというのは住民等の公共交通の利用者数に準ずるものなのかというふうに見てて思いました。あと他にも利用者数も目標に入れてもらえば、多分いいのかなというふうに思いました。</p> <p>あと公共交通の収支ですとか、公的資金投入額について、目標に入っていない部分はですね、仮に目標の評価指標に入れなかったとしても、参考の目標指標として定期的に測定していただいて、サービスに無駄が生じていないか、確認することが有効かと思しますので、そういったことも追加で記載していただければなというふうに思いました。あとこのア、イ、ウ、エの目標指標が設定された、どの目標に対してこれがあるのかというのも、またそういったことも記載していただければというふうに思います。私からは以上となります。</p>
会長	<p>ありがとうございます。何か事務局、ありますか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。ご意見の方を踏まえまして、収支状況等も含めて交通事業者さまと共有させていただきながら、この場でまた皆さまとご共有させていただいて、より具体の取り組みが促進されるように取り組んでいきたいと考えております。</p>
B 委員	<p>資料の22ページ、計画の達成状況の評価ですけれども、事前配布資料では志摩マリンレジャーのところが、観光客等のあご湾定期船利用者数（定期を除く）の目標値、1万1,000人を1万6,000人と。これが本日差し替えられた資料では、そこに該当するのが高校生の定期船通学定期購入割合の目標値に変わってるんですけども、従前、この会議でご説明をさせていただいたかと思うんですが、国交省の補助制度の仕組みから申しますと、校長先生に非常に悪い言い方なんですけど、通学定期の増大は決して収入の増加につながらず、そういう意味では、結果的には継続運航に寄与しないというような構造にな</p>

	<p>っております。</p> <p>一方で観光客の増加というのは、まさに収入の増加につながる非常に大きな施策でございますので、その辺、なぜ差し替えられたのかなというのが1点と、できれば元に戻していただければというふうに思うんですけども、よろしくをお願いします。</p>
会長	事務局、お願いします。
事務局	<p>ご意見の方、ありがとうございます。おっしゃられる部分、観光客の利用ってというのは従前の対象の一つではあります。今回、運用の方を再度、高齢者、観光客、高校生という面で整理させていただく中で、新たな事業設定をさせていただいたところではあるんですが、委員のご意見の通り、定期船の安定運航というのは私どもの計画の中でもしっかりと掲げておりますので、今回、ご意見を踏まえて指標としてしっかり設定していくべきだろうというふうに考えております。設定する方向で検討させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
会長	よろしいですか。他に大丈夫ですか。どうぞ。
C委員	<p>22ページで差し替えられた表記でアの部分なんですが、県立志摩病院の乗降率の増加っていうのも分かるんですけど、長期的には病院へ通う人を増やすのもどうなのかなって部分で、以前の表記の方がちょっと見やすいのかなと思っております。</p>
会長	事務局、お願いします。
事務局	<p>意図としましては、いつも病院に通うことを促進するという意味ではありませんでして、どちらかといいますと、高齢者の方が普段、自家用車を使われて病院に通われてる部分を少しでも公共交通の利用によって移動を行える、そういったことを目指したいという部分で今回このような形で設定をさせていただいたということでございます。</p>
C委員	分かりました。ありがとうございます。
D委員	<p>さっきの話ですけど、皆さん、全国津々浦々航路がありますけど、高校生が通ってる人数のベストスリーってわかります？ 答志島、日間賀島、篠島</p>

	<p>なんです。突出してこの三つが大きいんです。つまりあんまり全国の離島で高校生が通って本土に行くっていうのは多くなく、答志島が1番になるぐらい少ないと。だから、逆に言うと、そういう所だと、架橋されてる所がだいぶ多くなってきて、答志島はそういう意味では残ってる中で一番本土を結び付きが強い所なんだけど、高校もないし、船じゃないと、通えなくて、人口がそれなりに多いということ。そういう所が残ってるということが分かったので、高校通学を離島から便利にするということを言う人たちが少ないという現状で、それで例えば僕が言っても他に聞かないっていうのは、全然関心が弱いということ。言い換えれば、さっきも南知多町さんとかと話をして、小さいって言ったってわれわれは結構利用があると。そういうところを見てなくて、むしろ今おっしゃったように不利になるような、そういう制度になってること自体、おかしいじゃないかということを書いていかなきゃいけないっていうのを改めて感じました。今、実は修論でそういう研究してる学生いまして、全国の五百幾つのそういう有人で高校生が住んでる離島を全て調べて分かった結果が、実はさっきの3島が1、2、3で多いっていうことでした。</p> <p>水産高校の場合は離島じゃない。間崎から行く子もないわけなので、離島じゃないとこなんで、そのカウントにはないんですけど、たぶん数人であっても決して全国に見ると、少なくないよということになってるのだろうなと思います。なので、ちょっとそういうことが分かったので、今までより、僕はそれ言ったら他のところもあると思ってたんで、あまり言わなかったんですけど、B委員のご期待に応えてもうちょっと大きい声で毎回言い続けようと思っています。そうなったらいいですね？</p>
B委員	<p>よろしくお願いします。</p>
D委員	<p>なので、水産高校もちょっと特殊で、離島じゃなくて本土から本土なんですけれど、ましてやそういうとこだと、全然見られてないということだと。バスで行けばいいんじゃないかというように思われてるんじゃないかと思いましたので、そこが対策、分かったんで、より強化していきたいと思いますので、もし制度変わったら褒めてください。</p> <p>あと、ちょっと目標を変えて、その前の視点とか対応方針とかを変えていないので、今の質問が出たっていう要因があるかと思います。これはA委員がおっしゃったように、視点なのか、基本方針なのか分かりませんが、その内容と目標が整合していきやいけないと。というか、してなきゃあまり意味がないと。もちろんそういうもののサブ的な目標はあってもいいんですけど、メインのところはこれというのがほんとにいいのかというのは、</p>

	<p>非常に疑問に思うというのは当たり前だと思うので、そういう体系をもう一回、考え直さないといけないと。その上でここは議論しなきゃいけないんじゃないかと思いますので、このあたりは私も事務局とお話しして、こういう提案があるというのを書いていきたいなと思います。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。その他ございませんでしょうか。皆さん、よろしいですか。どうぞ。</p>
<p>E 委員</p>	<p>自治会の関係の者ですが、今回の 19 ページに取り組み方向っていうのが新たに設定いただいているのですが、この詳細な説明はいただいたのでしょうか。それと、調整、実証、こういう言葉を書いているのですが、令和 7 年度、8 年度から実施とか、そういうところが多いと思うのですが、このあたりはやはり年々高齢化と、免許を自主返納してしまうというふうなことが起こっていますので、一日も早く地域の声を聞いていただきたい。路線バス等への接続を補う交通手段と、それぞれの路線、それらについてもやはり取り組み状況の表を作っていただいておりますが、ちょっと時間的にこういうんでいいのかなというのは感じたところです。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局、お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご意見、ありがとうございます。取り組み方向のご説明ということでご意見頂いておりますので、19 ページをお開きいただきまして、一つずつ、簡単ではございますが、ご説明をさせていただければと思います。</p> <p><b>【資料 1 の 19 ページから 21 ページの説明】</b></p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。E 委員他、よろしいですか。他によろしいでしょうか。</p>
<p>F 委員</p>	<p>28 ページに交通事業者ヒアリング調査の調査結果っていうのが出てます。三重交通さんと志摩マリンレジャーさんと、近畿日本鉄道さんのそれぞれの現状が書いてございます。これを見る限り交通機関の公共性っていうのは大事やと言われながらも、人口減少の中で非常に厳しい状況に置かれてるということになるかと思うんですよね。皆さんはやっぱり車で移動することが多いということも含めまして、各事業所を持っている事業者の代表がここにおられますので、その意見もちょっと聞きたいなと思います。</p> <p>それと、先月の会議の時にデマンド交通の実証運行を志摩町、大王町でや</p>

	<p>るんだということで資料をもらいました。それで令和5年12月から3カ月間やりますということでございますが、これは大いにやってもらったら結構かと思いますが、この実施に向けての住民への働きかけ、例えば該当する年齢以上の人にこういうことをやりますので、皆さん方どうですか、というような働きかけをきちっとやって、こういうことをやっていくという方向付けが皆さんにどれだけ周知されとるのかということも含めてお聞きしたい。以上です。</p>
会長	<p>事務局、F委員、デマンド交通はこの後、報告事項3でございますので、そちらで回答していただくことにしまして、最初の方だけ回答してもらおうということで。</p> <p>それでは、各記載させていただいてる交通事業者さまから、もし現在のいろんな状況もあると思いますので、ご意見頂ければと思います。</p>
G委員	<p>ここに記載されておる課題なんですけども、コロナの前、これやはり今でも2割減ぐらいの旅客になっております。やはり働き方とか生活スタイルとか、そういったところが変わって、その変わったまま今、推移しとるという状況が大きいです。</p> <p>もう一つ、ここにはちょっと書かれておりませんが、当社として一番非常に費用がかさむのは今、原油価格の高騰で燃料代がかなり上がってます。やはり油がなければバスは走行できませんので、原油価格っていう財源が非常に利益を食っておるとというのが現状です。</p> <p>それから、もう一つがやはり人口減少といいますか、少子化、学生さんが年々減っておるという現状、それとともに通勤のお客さまもなかなか増えてこないというのが現状でありまして、皆さん方のご協力の下、事業促進とかいうようなことでは活動はしていますし、ちょっとでも乗ってみようかという方がみえたら、ぜひともバスのご利用をお願いします。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。じゃあ、H委員、お願いします。</p>
H委員	<p>申し訳ございません。弊社としては、このヒアリングを受けた時はもう相当前でして、5月ごろなんですけど、そこから徐々に、徐々に運賃改定の影響もあって収支的には9割ぐらい戻ってきてるとというのが正直なところですが、定期外乗降につきましては相変わらず15から20ぐらいのマイナスというのがずっと続いております。</p> <p>特に通勤ラッシュ、こちらの志摩地域じゃないんですけど、北の方、四日</p>

	<p>市から名古屋までの間、そちらの名古屋輸送というところの特急の乗車が非常に顕著に落ちておまして、1カ月に50万人ほど乗っていただいていたお客さまが、特急に乗車されていたお客さまがもう2割以上落ちて、22～23%でずっと推移してる。これはもう全然変わらない状態で、非常に経営的にも厳しいというか、お客さまが正直、特急に乗っていただけない状況で、こちらの名古屋線の方についてはほんとに非常に厳しい状況です。名古屋、大阪合わせて大体それぐらいの推移ですので、名古屋の方がやはり落ちているというのはもう顕著でございます。</p> <p>特に三重県につきましては自動車網、車を使われる方が非常に多いので、やはり交通公共機関を使っていただける機会が少ないということで、何とか乗っていただきたいために、観光客のお客さまのために志摩線や山田線、松阪から賢島までサイクルトレインで、地元の方が簡単に乗っていただけるような形でちょっとしたお買い物にも使える。それから、観光のお客さまに乗っていただけるというような施策をいろいろやっています。特に志摩地域については、海女さんトレインとかいろんなイベントでお客さま、観光客の皆さまを呼ぶような施策をもう必死になって今やっているところでございます。</p> <p>少しでもこちらの魅力を、伊勢志摩の魅力を伝えて、特に交流人口の増加というところに今、必死になって努めているところでございますので、通常の皆さま方、地元の皆さま方にも電車に乗っていただいて、このように快適に乗れる電車を相当数運行していますので、ぜひともご利用いただきたいと思っております。こちらのヒアリング結果につきましても、公共交通機関、ご利用されてる地元の方がなかなか少ないのかなと思って、ほんとに非常に思っておりますし、ぜひとも乗っていただきたいなというのが当社の思いでございます。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。B委員、お願いします。</p>
B委員	<p>こちらに記載の通りでございますけれども、まず1点目ですけれども、地域公共交通の維持の責務というのは、私は基本的には行政にあると思っております。決して民間事業者がその部分で赤字を出して維持していくものではないという考え方が基本でございます。</p> <p>その上で、和具航路っていうのは実は収入の倍以上の経費を使って運航しておるような航路でございまして、国土交通省、三重県さま、志摩市さんからある一定の補助金を頂いてるんですけども、その補助金ではとてもではないけど、含み切れてないというような現状がございまして、この和具航路の航路維持をしていくためには、その部分の赤字の補助っていうのを充実</p>

	<p>していただいて、収支均衡になるような航路にしていきたいというのが1点目でございます。</p> <p>もう1点ですけれども、とはいえ、補助金が全額出たからといって、非効率な運営をするわけにはいかないというふうに思います。今現状、時間帯によっては月のうち数人しか乗ってない便がございます。言ってみれば、一月30日あって月間30人乗ってないという便が何便かございまして、そういう非効率な便というのは本当に必要なかというふうなところと、その便を逆に需要の高いところへ持っていけば、先ほど申しあげました航路の活性化、観光客の呼び込み等につながって、利用人員が増えていくんじゃないかというようなこともございますので、運航効率を考えて限られた資源を効率のいいところへ持っていききたいというのが2点目でございます。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。3事業者の皆さん、どうもご意見、ありがとうございました。F委員、よろしいですか。</p>
F委員	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>他にお受けしたいんですけど、時間がちょっと超過してまいりましたので、全体の最後でまた何かございましたら、お受けしたいと思います。公共交通計画については事務局の方、今までのご意見を踏まえて、特に対応方針、取り組み方向、それから、具体的な内容、KPIの整合性が合うようにブラッシュアップしていただいて、またお示ししていきたいと思います。</p> <p>それでは、続きまして報告事項2ということで、路線バス「志島循環線」バス停留所「福祉センター」の設置について、事務局からご説明、お願いします。</p>
事務局	<p><b>【資料2-1、資料2-2、資料2-3の説明】</b></p> <p>運賃協議の変更点についてはA委員からご説明をお願いできればと思います。</p>
A委員	<p><b>【資料2-4の説明】</b></p>
会長	<p>ありがとうございました。志島循環線の福祉センターの設置についてのご説明と、法改正の説明でございましたけど、本日は協議ということではなく、これからの流れというお話がありましたけども、一つ、二つ、もしご質問があれば、お受けしたいんですけども、何かございますか。</p>

D 委員	<p>この福祉センターの件は、私はそれ停留所を取る時には休止にしたらいいいんじゃないかっていうふうに申し上げましたが、廃止された。どうせ戻すことなら休止にしとけばいいだけだし、休止でその後、要らないんでって言ったなら、休止から廃止に変えればいいだけなんで、ずっと簡単だったということなんですけど、私はそう思っていました、結果的に面倒くさいことになったということなんで、もうちょっと僕の言うことを聞いた方がよかったんじゃないかなと、個人的には思ったというのが一つです。</p> <p>廃止するっていうのはもう今後やらないっていうことを言っていると同然なんで、本来、良くないこと。だけど、9月までの仕組みだと、簡単に復活できると言えたんで、そういうことにしたのかもしれないんですけど、簡単に復活できるとか、そういうことじゃなくて、これはやり続けるつもりだけど、今、工事だから休んでるっていう、そういうふうにメッセージを出さなきゃいけないと。そういうことが大事だっていうのをちょっとお伝えしたいんですよ。</p> <p>同じことは今の説明にもあるんですけど、最後 A 委員が付け加えられましたが、この会で運賃のことを議論してはいけないわけじゃないので、これは別の協議会でも運輸局の方に申し上げたんですけど、協議事項っていう意味、協議事項っていうのはここで採決して決めることを言ってるんで、協議事項っていうのは議決事項なんです。ところが、今の説明だけ聞くと、協議事項じゃないってことは、運賃のことがここで話をしちゃいけないんじゃないかと思っちゃうんじゃないのと。そこが一番まずいところ。したらいいいんです。ここで採決できないこともないんです。してもいいけど、効力はないということなんで、したっていいんですよ、別に。したっていいけど、それを運輸局に持っていても、この会議でやっただけだったら認めませんと言われるだけ。というふうにみんな言ってたけど、4 者で協議したら、他の人がいろいろ言ってたけど、我々4 者としては駄目とか、いいとかというふうに決めてもらうということなんで、いいんです。そういうふうに思っただけなんです。今の説明だと、そこが分からないので、勘違いする可能性が高い。</p> <p>ところが、もう 1 個大事なことがあって、今までだって似たようなことありましたよ。運賃って結局、さっきの話じゃないんですけど、赤字運転して決まってる運賃でしょ？ 赤字運転しなかったら、この運賃でできないんですよ。そうすると、議会で決めることなんです、本来運賃は。だから、運賃協議会で決めることじゃ本来ないはずなんです。議会で補助金をこれだけ出していただけるって決まってから、運賃が決まるんで、だからそういう意味じゃ今までもここで議決してるのは、運輸局さんに出す書類として認めてもらえるだけで、市役所の中の議会でこんな駄目って言われたらアウトだ</p>
------	---

	<p>ったんですよ、もともと。同じように考えればいいだけなんです。つまりここなのか、今回、10月から運賃のみは4者でやることになったんですけど、それは運輸局に持っていったら認めてもらえるだけのことで、実際は議会で駄目とか言われたら駄目なんです。ということなんで、そこははっきりしてほしいなと思います。</p> <p>あと実務的な話としてちょっと聞いておきたいんですけど、これは協議路線に一応なっているということですけど、実際、三重交通の運賃ですよ？ だったら出す必要ないんじゃないかなとも思えた。三重交通の運賃なんかは別に協議運賃といたって三重交通の運賃なんで、協議路線じゃなくてもいいんじゃないのと思いました、運賃上においては。協議路線というのは、運賃をいわゆる三重交通さんが持つて民間運賃、上限民間運賃に抵触するか、しないのかのところの話なんで、別に民間運賃っていうか、今の上限認可の中でやってるんだったら、別に実は協議運賃とは言えないんじゃないのと。あるいは協議運賃として出したとしたって、今この福祉センターまで延伸するのを出すんだけど、これが普通に協議運賃でない、一般の運賃だったら、運賃協議会やる必要ない気がするなど。</p> <p>本当はこれを機会に志島循環線とか、前から言ってるように本来、市の実証運行バスっていう形なので、そう考えたら、やっぱり我々がこの運賃をどうするかというのはきちんと考えないといけないんじゃないかな、ということも思いました。</p> <p>むしろそういうことを議論すべきで、事務局と支局で話し合っ、制度変わったんで、こういうふうにしたらいってというのは、それで決めてやってもらったらいんじゃないのかなと。法令上は4者協議会やれと言われてるので、それはもう決まってることなので、それに基づいて市としてはこういうふうにするということ、私はいいと思います。その4者協議会のメンバーをどうするかというのは協議事項なんだろうかと、思います。そういうふうに整理していただけたらと思います。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。じゃあ、事務局の方、ちょっとこれに関してはいま一度、改めて整理していただいて、協議するのか等も含めまして整理をお願いします。じゃあ、すいません。この報告事項2はこれで終わりたいと思います。</p>
<p>D 委員</p>	<p>今の段階でこの志島循環線は、三重交通の普通の路線と同じような運賃体系ですというふうに今までなってきた、ここで消費税改定とかの議論をした。つまり消費税改定して三重交通の運賃が変わるんで、これも変えますかとい</p>

	<p>う議論しましたね。それがいいかどうかはいま一度、確認しといた方がいいのかもしれませんが。福祉センター乗り入れるんだったら、今回ちょっと安い運賃にした方がいいんじゃないかとか、そういうご意見が出るんだったら、今が一番いいチャンスということではあると思います。</p> <p>それはずっとやっぱり志島循環線自体が本来、このやり方では駄目なんで、どうかしなきゃいけないって、私がここの会議に入って7~8年ぐらい経つんだと思うんですけど、ずっと言っているのにできてないから、こんなことになっているということなんで、私自身の力の至らなさでもあるんですけど、早いところ解消してほしいんです。本当の意味の協議運賃にしていくべきだと思うんですけど、だから私の考えとしては、ここが議論すべき時期なんですけど、変に過渡的な状況の中で運賃をここだけ特別にするのもおかしいので、三重交通の運賃そのままでもいいのかなと、結局その結論かよと言われちゃうんですけど、一応、そういうふうに思っています。</p>
会長	事務局、よろしいですか。
事務局	<p>ありがとうございます。本当に深いところからご意見が頂戴できまして、私どもまだまだ本当に勉強不足な点多々ある中で、先ほどの協議運賃は果たして協議運賃なのかというふうな議論も含めて、もちろん運輸支局様とも相談させていただきながら、自治体の立場とすれば、手続きが簡略化される方が当然ありがたいというのが正直なところでございますので、こういった手続きがいいのかというあたりも含めて、運輸支局様とご相談させていただければと思います。</p>
会長	報告事項3ということで、続きましてデマンド交通の実証について、事務局か説明をお願いします。
事務局	【資料3の説明】
会長	<p>ありがとうございました。第3回の説明からいろいろ決まってきたとは思いますが、委員の皆さま、何かご意見、ご質問等がありましたら、お受けします。いかがでしょうか。</p>
F委員	<p>デマンド交通を試してみるというのは大事なことだと思いますが、1回乗車200円という、これは利用する住民の意向や人数を十分加味して決めたのか。それとも安ければいいと決めたのか。採算ベースに合ってるのか、</p>

	<p>ないのか。安いことを1回目に言ってしまうと、後で上げることは大変。この地域に住む人たちがデマンド交通というのをほんとに理解して、自分たちも利用してみたいなというには説明が遅過ぎるんじゃないか。もうちょっと早くからアンケート調査や住民説明をして、それでいろんな盛り上がりがあるなど、そういう認識を持って、まずこの程度の運賃でいけるかもということを決めるんならともかく、なんでこういう運賃が先にあって、それで説明会はやる1カ月前、説明会やって住民のチラシ配布がまだ、これじゃあうまいこといくかどうか分からない。そう思いませんか。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局、どうぞ。</p>
<p>事務局</p>	<p>料金の件につきましては、昨年度、地域に入った懇談会とか、このデマンドの実証を計画する中で、それぞれの地域に入って懇談会をさせていただきました。当初、この料金につきましては、デマンド交通というのが利便性の観点からバス以上、タクシー以下というようなところで、本来、そのバランスを取って考えていくべきというところも議論しておりました。その中で1回300円がいいのか、当初、最初は500円というような料金設定も含めて、事務局としては考えておりました。ただ、地域へ出向く中で往復500円を超えてくると、なかなかちょっと使えないなというようなご意見も各地で頂きました。</p> <p>まず、実証する中でいったん金額を決めてしまうと、上げにくいというご意見はもちろんかと思うんですが、まず乗っていただかないと、皆さんの感想等も聞けないというところもございまして、この設定の中で今回はしっかり乗っていただくというような形で、この金額設定をさせていただいたというところもございまして。あと住民の皆さまへの周知につきましても、こういった懇談会を通じてご説明をさせていただいておりますが、引き続きこちらは継続して地域の方にご理解いただけるように進めていきたいと思っております。以上です。</p>
<p>F委員</p>	<p>運行に当たっては、こういう予約を取ってきちっと整理して、何時に誰がどこへ行きたい。何時に誰が迎えに来てほしい。こういう希望があって初めて成り立つと思うんですけど、そこら辺はやっぱり今の時代ですから、それをAIとかを見込んで、こういう路線で周ったらうまいこといくとか、そういう検討を以降やっていくのかと。そこら辺を含めてきちっとやっていかんと、やったわ、赤字になったわ、もうからないわ。こんなじゃまた大変だと思いますんで、そこら辺はどうですか。</p>

事務局	<p>おっしゃる通り、データを取っていくということは非常に大事だと思っております。今回、システムを使うことでしっかりどこに乗ったか、どの時間帯に乗ったかということがデータとして取れてきますので、今回の実証でそのあたりを整理しながら、今後、デマンドがこの地域に合っているのかどうかということも含めて、実証をさせていただくという考えでおります。</p>
F 委員	<p>今の説明やと、結果論ですね。結果論の前にやっぱり住民が説明会でぜひ乗ってみたいと思うところから、このデマンド交通を始めていくことを考えないと、結果論だけで事業を考えるとというのは、もうちょっと取り組みが遅いと思います。</p>
事務局	<p>このデマンドにつきましては昨年度、懇談会の中で入った時に他地域のデマンドの事例もしながらご説明をさせていただいた経緯がございます。その中で大王、志摩につきましては、このデマンド交通、地域の皆さまが使ってみたいというような声も頂きまして、それも踏まえた上で今回、実証を実施するというような流れになっております。以上でございます。</p>
F 委員	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>他にいかがでしょうか。大丈夫ですか。</p>
D 委員	<p>PR うんぬんの話だったんですけど、ほんとに利用したいのだったら自主的にやられるんじゃないかなと思うんで、やられないのだったら要らないんじゃないかなと、私自身は思ってます。あるいは聞きに来るんじゃないのかなと。そうじゃなくて、いちいち市がPRしないと、乗らないのだったら、あんまり要らないものなんじゃないのかなと。そういうふうに考えた方がいいんじゃないかと。ただ、ほんとに何も知らないのだったら、何か伝えることはしなきゃいけないんで、それはやるべきなんですけど、それが便利なものとか、おばあさん、出かけられないと言ったけど、ああいうのだったら出かけられるんじゃない？って思ったら、そこから先はもっと地域の皆さんでやっていただきたいなというのが私の思いです。</p> <p>あと運賃の件は、先ほどの協議会とも通じる話になるんですけど、採算が取れるか、取れないかとか、そんな話にならない。最初から取れるわけないんで、全国のデマンド交通で採算取れてるとこなんか1個もありませんから、これで商売やるって言ったら、黙っててももっとたくさんできてははず。そうじゃなくて、それなりにはやってはいるんですけど、そんなにできて</p>

ないっていうのは、このビジネスはとても運賃だけで採算取れるような、そういうビジネスモデルじゃないということは明らかなので、それは非常に単純でオンデマンド交通っていうのは、タクシーと同じように動くんだったら、タクシー料金と同じだけ運賃取らなきゃいけないんだけど、さっきの200円とかだったら、絶対取れないでしょ？どれだけ頑張ったって。なんで、そういう問題じゃ全然ないですと。

それよりも私、いつも保険の考え方って言ってるんですけど、自己負担が幾らで、住民1人当たりが税金から払う交通に対する補填の1人当たり額は幾らかっていう。これが健康保険と同じ考え方でいいですよ。200円が自己負担、それから、税金から払う部分を1人ずつに換算したものが保険料っていうふうに考えた時に、どういう負担になってるかっていうのをきちんと市役所が明らかにすること。200円は明らかにしたんだけど、それに対して住民1人が幾ら払うのかっていうのはきちんと市役所が明らかにして、それが見合うものなのかどうかを皆さんに問うということが大事かと思います。

あと安くすれば乗るかどうかっていうのは、安くすれば乗るんだと思うんですけど、私自身は、南伊勢町がそうであるように南伊勢町は200円なんですけど、上げることができないと。ずっと上げられないと。バスより安いところがあるので、バスに乗ってくださいと言ったって乗ってくれないと。これはほんとに最初に低運賃にすると、上げるのは非常に難しいです。実際、そこで決まる可能性が高い。

そのさらに隣の紀北町、ここはタクシーがありません。デマンドもない。なので、「えがお」っていう軽自動車でタクシーみたいなのをやるのをボランティアでやってるということなんですけど、ここの運賃言うと、初乗り10分が600円です。だから、絶対乗ったら600円かかる。1分ごとに100円加算っていう結構高い額なんです。みんな文句言ってます。

ですけど、これは明らかにタクシーより安く、バスより高い運賃なんですけど、今3台あるんですけど、3台で足りないくらい乗ってます。必要だと。その額でも必要だと。それは下げてくれた方がいいけど、下げることを考えるんですけど、下げるともっと必要になるでしょ？今3台が4台になって、5台になって、そうすると、もともとなんで紀北町でタクシーないかといったら、運転手が足りなかったからなので、だからそんなにたくさんできないんですよ。なので、まさにそこでオンデマンドを今考えてます。

つまりタクシーだと、1人ずつ乗っちゃうんで、2人、3人で一緒に乗るっていうことをすれば、もうちょっと今の600円から400円とか300円にいくかなと思って、特に利用の多い皆さん、紀北町、どういうところか分かるかは分かりませんが、長島港と紀伊長島駅周辺がやはり半分ぐらいなんで、

	<p>そこを動く人が。だったら、そこだったらデマンド交通にして、AI 予約とかにすればまとまるというので、そうすると多分 600 円じゃなくて、300 円とか 200 円にしていけるかなという感じで実験してます。</p> <p>なので、最初から安くするというのは、本当はどうなのかなと私は思っています。なぜかという、下からいくと上げることが難しいので、高い方から下げるのは簡単なんだけど、ということですが、志摩市としてはこの額からいくというふうにされたので。また本格運行の時は議論していただければいいのですけれど、これは試行で、特別価格ということをしかり言っていたいて、こんなので採算なんか取れるわけないと、全くそんなもん度外視してやってる、ということをしかり言っていたいて、この額でやっていただきたい。それ言わないでやると、その額で黒字になると勘違いするので。なるわけないのに、なるって勘違いする人がいるから、そういうことを勘違いさせないというのは大事なことです。そういうことに注意してください。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。他にございませんか。無ければ、本日の報告事項の 3 つにつきましては以上ということで終わらせていただきます。事務局におかれましては、特に報告事項 2 の志島循環線については、廃止の経緯を踏まえてしっかりと市民の皆さまの利便性の確保のために、今後、ほんとに議論が必要なのか等も含めて協議していただきたいというふうに思います。最後、事務局からどうぞ。</p>
事務局	<p>1 点、ご連絡させていただきます。本日ご意見頂きました志摩市地域公共交通計画案につきまして、皆さまからご意見頂いたものを反映させていただきまして、事務局で修正した後に、皆さまに書面にてご確認をさせていただきたいと思います。その後、11 月 17 日に予定されております次回の市議会の全員協議会で意見交換をさせていただきまして、その後にパブリックコメントを経まして、令和 6 年 4 月の制定に向けて進めてまいりたいと思いますので、ご協力、よろしく申し上げます。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。長時間にわたりご議論いただきまして、本当にありがとうございました。これをもちまして第 4 回の地域公共交通会議を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p>